

言語活動の充実に関する実践事例

学校名(廿日市市立阿品台中学校)

- ① 教科等 美術科 ② 学年 第2学年
- ③ 題材名 メッセージを伝えるポスター
- ④ 本時の目標 形や色彩の性質や、それらがもたらす感情などの働きを意識し、多様な表現を見付けることができる。
- ⑤ 学習の流れ(1時間)

| 学習活動 | 指導上の留意事項 | 評価規準〔観点〕 (評価方法) |
|--|--|---|
| 1 本時の目標を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・作品を見せ、この9枚に共通なことは何かを問いかけて、興味付けをする。 (図柄や文字を使って人に何かを伝えている→ポスター) | |
| 9枚の作品にある共通点や相違点を見付け、多様な表現を発見しよう | | |
| 2 各自で9枚の作品に、何が描かれているか、どんな形や色彩で表現しているかなどをじっくり観察する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、素材や題材、表現の方法、そこから受けるイメージなど、〔共通事項〕を視点として提示する。 | |
| 3 9枚の作品にある共通点や相違点を出し合い、多様な表現を見付けながら2つに分類する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が感じたことをもとに、グループで2つに分けられるキーワードをたくさん出し合い、9枚の作品を分ける。 ○ 2つに分類するキーワードを、理由をつけて全体で発表し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループに9枚の作品カードを配り、造形的な視点や表現内容の違いなどをグループで出し合いワークシートに記入させる。 ・根拠を明らかにして発表させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・絵や写真など素材の違いや形や色彩の造形的な表現方法の違い、啓発や宣伝の伝達内容の違い、啓発では促進と禁止の表現方法の違いなど、根拠を明らかにしながら分類している。 〔鑑賞の能力〕 (発表内容、ワークシートの記述) |
| 4 本時の学習を振り返り、まとめをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、素材などの造形的な違いによる分類以外に、何を伝えているか〔啓発・宣伝〕の内容の違い、〔促進・禁止〕の表現方法の違いも押さえ、次時の啓発ポスター制作の予告をする。 | |
| 5 次時の学習を知る。 | | |

言語活動の充実

設定した言語活動を通して育てたい力

- 自分やグループで感じたことや作品についての考えを深め、根拠を明らかにして述べ、作品の多様な表現に気付くことができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 〔共通事項〕での視点をもたせる。
- 共通点や相違点から2つに分類をさせる。
- ワークシートに自分の意見とグループの意見を整理して書かせる。